

6年生を送る会が開かれました

年が明けて2か月が過ぎました。今年度も残すところあと1ヶ月となりました。それぞれの学年ごとに、しっかりとまとめや締めくくりをしていきたいと考えています。

さて、2月19日（木）には「6年生を送る会」が開かれました。2時間目はそれぞれの縦割り教室でプレゼント渡しやゲームをしました。3時間目は体育館で、6年生にこれまでの感謝や思い出を言葉にして呼びかけたり劇にしたりしました。笑いあり涙ありの素敵な時間は、あっという間に終わりの時間が来てしまいました。この「6年生を送る会」に向けて、各学年の子供たちが一生懸命準備を進めてきました。当日は、「よくここまで創り上げたな」というのが、私の素直な感想です。この1年間で子供たちが大きく成長したことを感じる時間でした。

6年生に対する祝福や感謝の気持ちと、1年生から5年生に対するエールが体育館いっぱいに広がった温かな素晴らしい「6年生を送る会」となりました。

6年生が3月10日の卒業式を元気に迎え、希望に満ちた姿で巣立っていくことを願うとともに、教職員一同、精一杯祝福したいと思っています。

<6年生を送る会より>



校長室より

<2/26 児童朝礼より>

「一秒の言葉」という詩を紹介しました。

いちびょうのことは 一秒の言葉

今日は「一秒の言葉」という詩を紹介します。

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある

この詩は、こんな言葉から始まります。

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に

「ありがとう」

皆さんだったら、この言葉をどう説明しますか？

に当てはまる言葉を、自分なりに考えてみてください。

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に 人のやさしさを知ることがある

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で

(一つ一つ提示して、自分が思う言葉の意味を考えました。短い時間でしたが、自分の考えた言葉を発表してくれたお友達もいました。)

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に 人のやさしさを知ることがある

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で 幸せにあふれることがある

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さを見ることがある

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が 一生の別れになることがある

(その言葉がどのような意味をもつのか、自分が考えたものと作者のものが違っていても、もちろんかまわないことを伝え、一人一人が考えました。)

一秒に喜び

一秒に泣く

一生懸命一秒

あいさつを含む全ての言葉には、強い力があります。その力で、花束のように人の心を明るく幸せにすることもあれば、ナイフのように人を傷つけ不幸にしてしまうこともあります。どのようなあいさつや言葉を使うのが良いのか、自分なりに考えてみましょう。